

《 E13 東北中央自動車道》

**東北中央自動車道が延伸します!**  
**東北中央自動車道「村山本飯田IC～大石田村山IC」間が**  
**令和3年12月11日（土）15時に開通**

国土交通省が事業を進めてまいりました東北中央自動車道（東根～尾花沢）のうち、村山本飯田IC～大石田村山IC間 延長4.5kmが**令和3年12月11日（土）15時に開通**することとなりましたので、お知らせします。  
また、開通式典は下記のとおり開催します。

- ＜今回の開通による主な整備効果＞
- 安定的な製造部品の輸送により地域産業の活性化を支援
  - 高速道路ネットワークの拡大による地域観光振興を支援
  - 冬期の速達性向上等により迅速かつ安定した救急搬送を支援

■開通式典

開通式典について、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、一般の方の参加を取りやめ関係者のみで行うこととします。

- 1) 日時：令和3年12月11日（土）10時30分～
- 2) 場所：＜式典＞甌葉プラザ  
＜セレモニー会場＞村山市本飯田地内（会場案内図参照）
- 3) 主催：山形県・村山市・国土交通省東北地方整備局
- 4) 次第：あいさつ、来賓祝辞、テープカット、くす玉開披、通り初め等

また、今回の開通に関連してインターチェンジ名称が決定しましたので、併せてお知らせします。

- 村山本飯田インターチェンジ ←（仮称）村山北(2)インターチェンジ（今回開通区間）  
村山名取インターチェンジ ←（仮称）村山北(1)インターチェンジ（令和4年開通予定）  
村山インターチェンジ ←（仮称）村山インターチェンジ（令和4年開通予定）

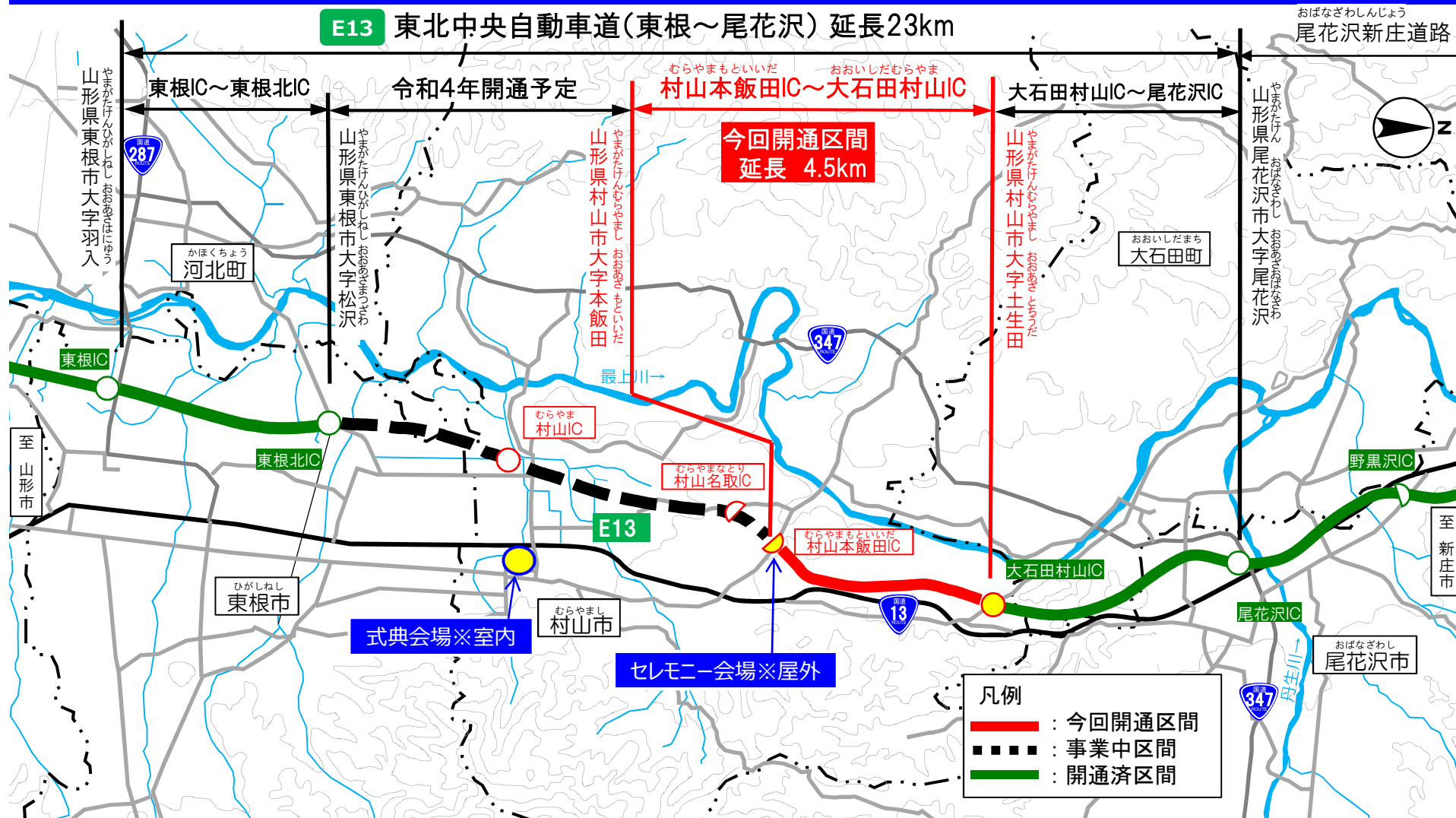
※インターチェンジ名称については、地元自治体の意見を反映し決定しています。

記者発表先：山形県政記者クラブ、新庄新聞放送記者会、山形建設業界専門紙

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所 電話：023-688-8421(代表)  
副所長（道路担当） 田口 秀美（内線205）

# 東北中央自動車道(東根～尾花沢) 村山本飯田IC～大石田村山IC間 位置図



- 開通式典
- 1) 日時 : 令和3年12月11日(土) 10時30分～
  - 2) 場所 : 【式典会場】 甌葉プラザ (村山市楯岡五日町14-20)  
【セレモニー会場】 村山本飯田IC (村山市本飯田地内)
  - 3) 主催 : 山形県、村山市、国土交通省東北地方整備局
  - 4) 概要 : 主催者挨拶、来賓祝辞、テープカット、くす玉開披、通り初め等

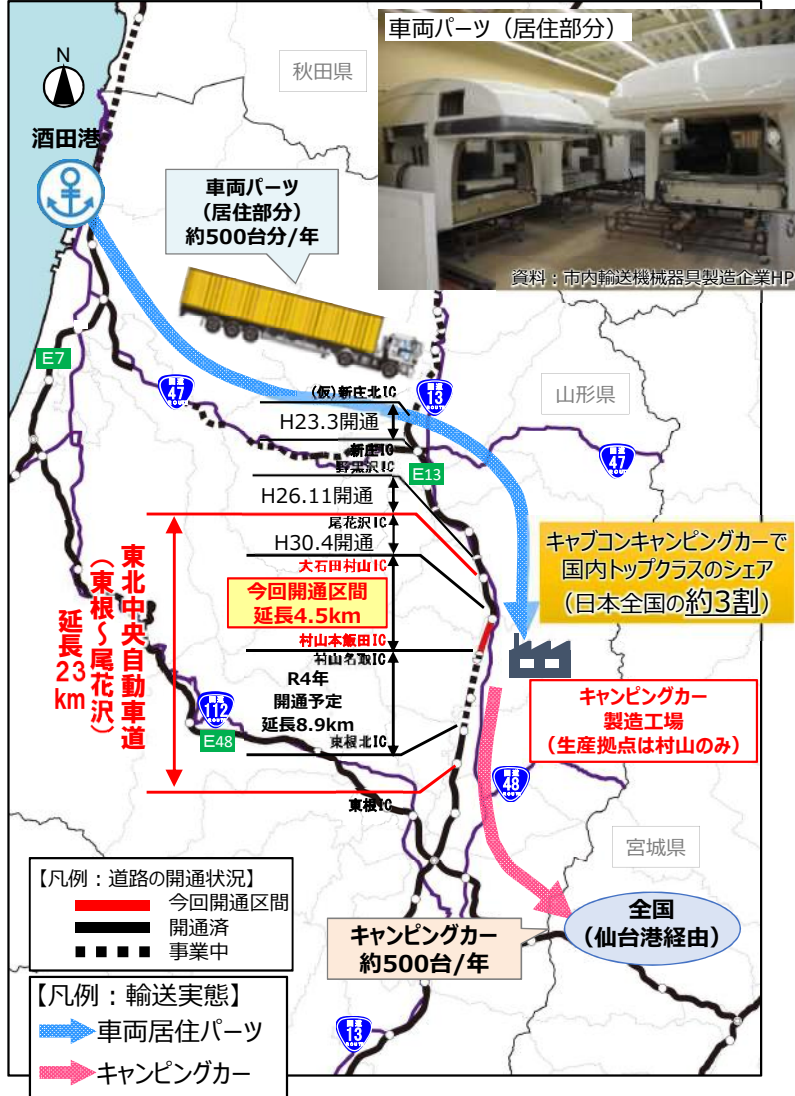
※今回開通する区間は、無料で通行出来ます。  
 ※開通区間は自動車専用道路です。歩行者、自転車、軽車両、125cc以下の二輪車は通行出来ません。  
 ※開通時間直前の路上駐車は、通行の妨げとなりますのでご遠慮願います。

※お車でお越しの報道関係の方は、「別紙1:会場案内図」を参照下さい。  
 ※報道関係の方は、別添「送信票」による事前申し込みをお願いします。

# 地域産業の活性化を支援

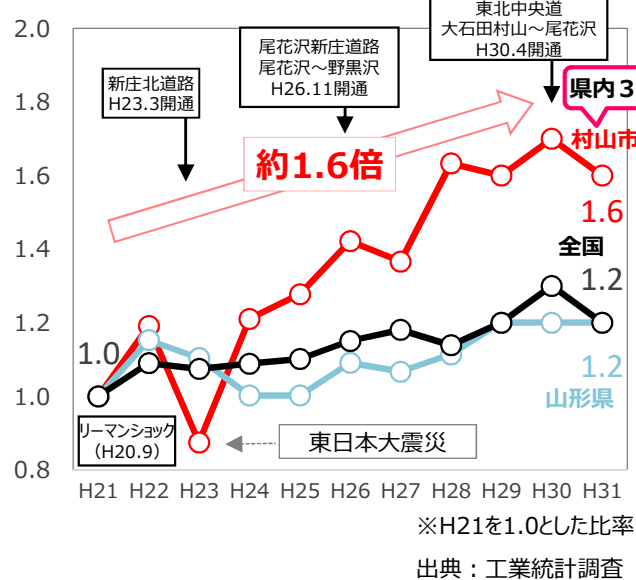
- 村山市の製造品出荷額はH21以降増加傾向で推移し、産業分類別では輸送用機械器具製造業の割合が37%と最も多い。
- 自動車関連企業が集積する金谷工業団地のほか、キャンピングカー製造工場では酒田港から部品を入荷し、近年需要が増加傾向。
- 今回開通区間を含む東北中央自動車道の整備により、安定した部品供給に寄与し、地域産業の活性化を支援。

## ▼東北中央自動車道を利用する キャンピングカー製造企業の輸送

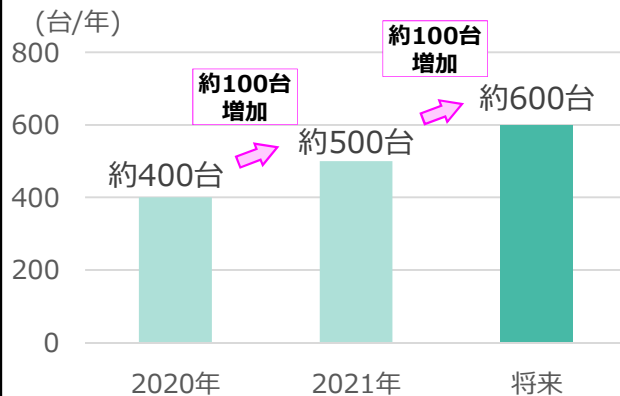


## 「村山市の産業」

### ▼製造品出荷額の推移

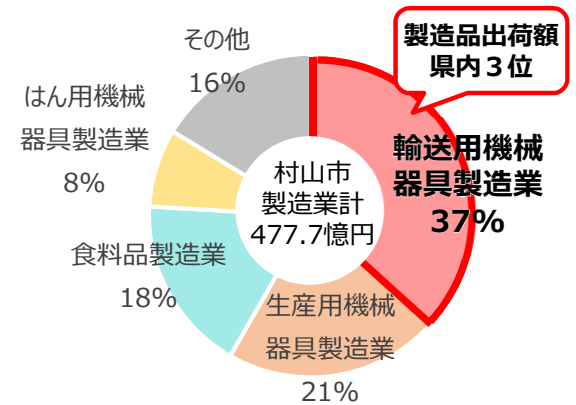


### ▼キャンピングカー生産台数の推移



資料：市内輸送機械器具製造企業ヒアリング調査(R3.8)

### ▼分類別製造品出荷額割合



資料：工業統計調査 (H31)

## ■キャンピングカー製造企業の声

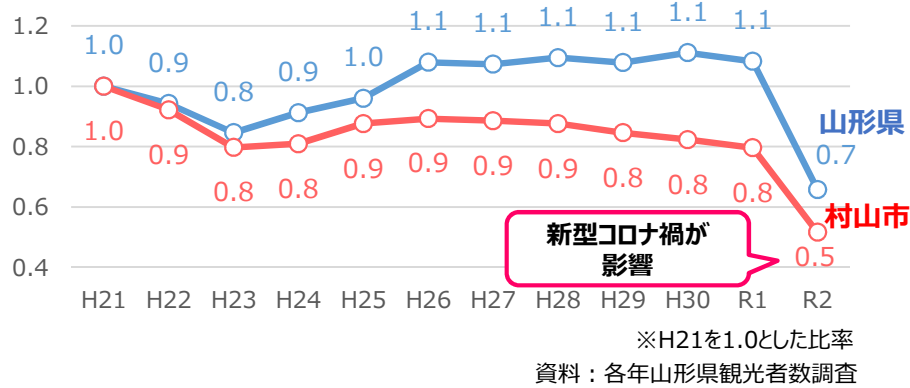
- 東北中央道の整備も見据えて、村山IC付近に工場を移転(H28)し、R2には生産量を上げるために工場を増設した。
- 輸送時に、車両パーツ(居住部分)に傷がつかないようにと商品として使えず、生産にも影響が生じる恐れがあるため、入出荷では、基本的に高速道路を利用して、荷崩れのリスクを減らしている。
- 今回開通区間の整備により、通過する信号交差点が減り、酒田港からの車両パーツ(居住部分)の輸送等における荷崩れのリスク減少が期待される。

資料：市内輸送機械器具製造企業ヒアリング調査(R3.8)

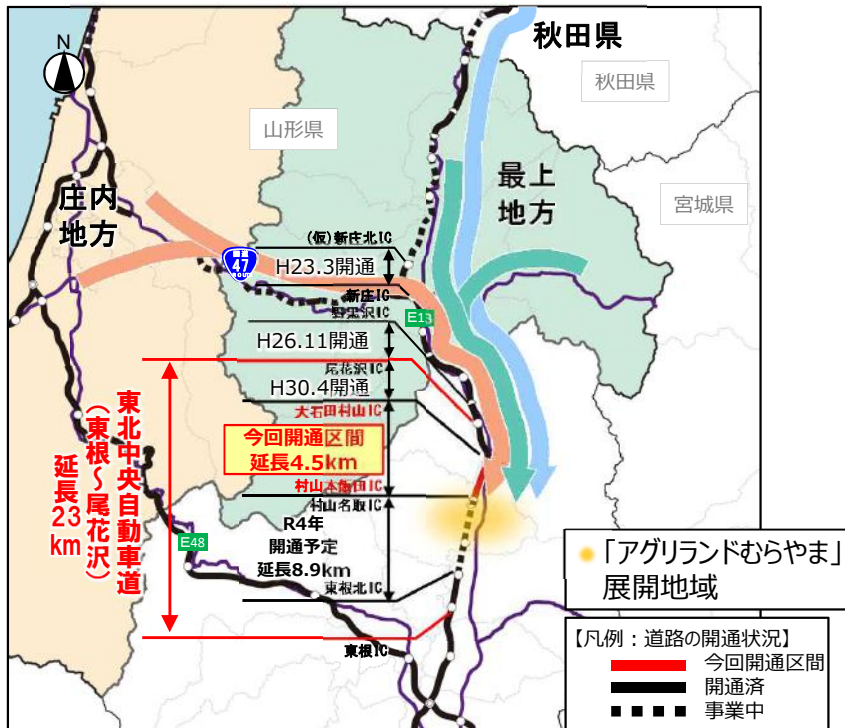
# 地域観光振興を支援

- 村山市の観光入込客数は、山形県全体の推移を下回ったまま、横ばいでの推移が続いている。
- 村山市は、周遊観光促進を図る「アグリランドむらやま」事業を推進し、4,500人の参加者を目標値として設定。
- 今回開通区間を含む東北中央自動車道の整備により、周遊観光の促進が期待される。

## ▼山形県と村山市の観光入込客数の伸び



## ▼「アグリランドむらやま」展開地域と来訪ルート

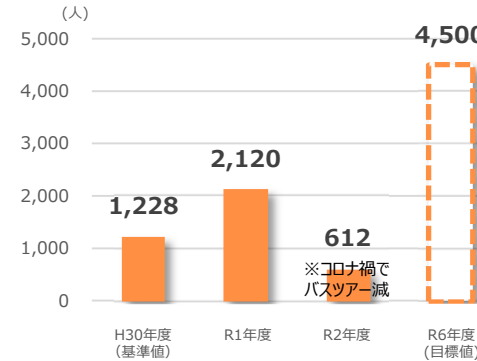


## ◀「アグリランドむらやま」事業▶

<概要>  
 村山市内に点在する農業体験や産直・観光施設などの資源をつなぎ合わせ、地域活性化を目指す事業 (H30年度開始)

資料：村山市HP

## ▼参加者数 (成果指標及び実績)



資料：第5次村山市総合計画後期基本計画及び村山市

## ▼代表的な事業施設箇所

### ① 飲食施設 (蕎麦)



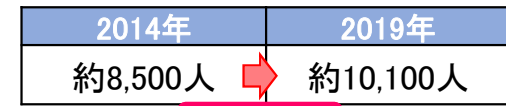
### ② 農業体験 (ジュンサイ沼)



### ③ 産直ごてん広場 (直売所)



## ▼村山市以北からの来訪者数※変化 (休日)



※村山市以北の県内市町村  
 出典：RESASデータ

## ■アグリランドむらやま施設関係者、村山市関係者の声



●今回開通区間の整備により、時間の余裕ができて、お客さんによりゆっくり食事をしてもらえるようになったり、農業体験や観光もより満喫できると思う。

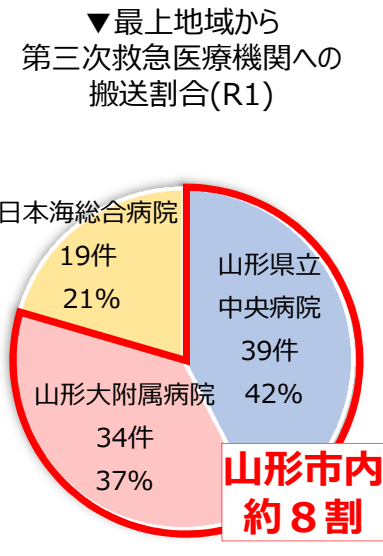
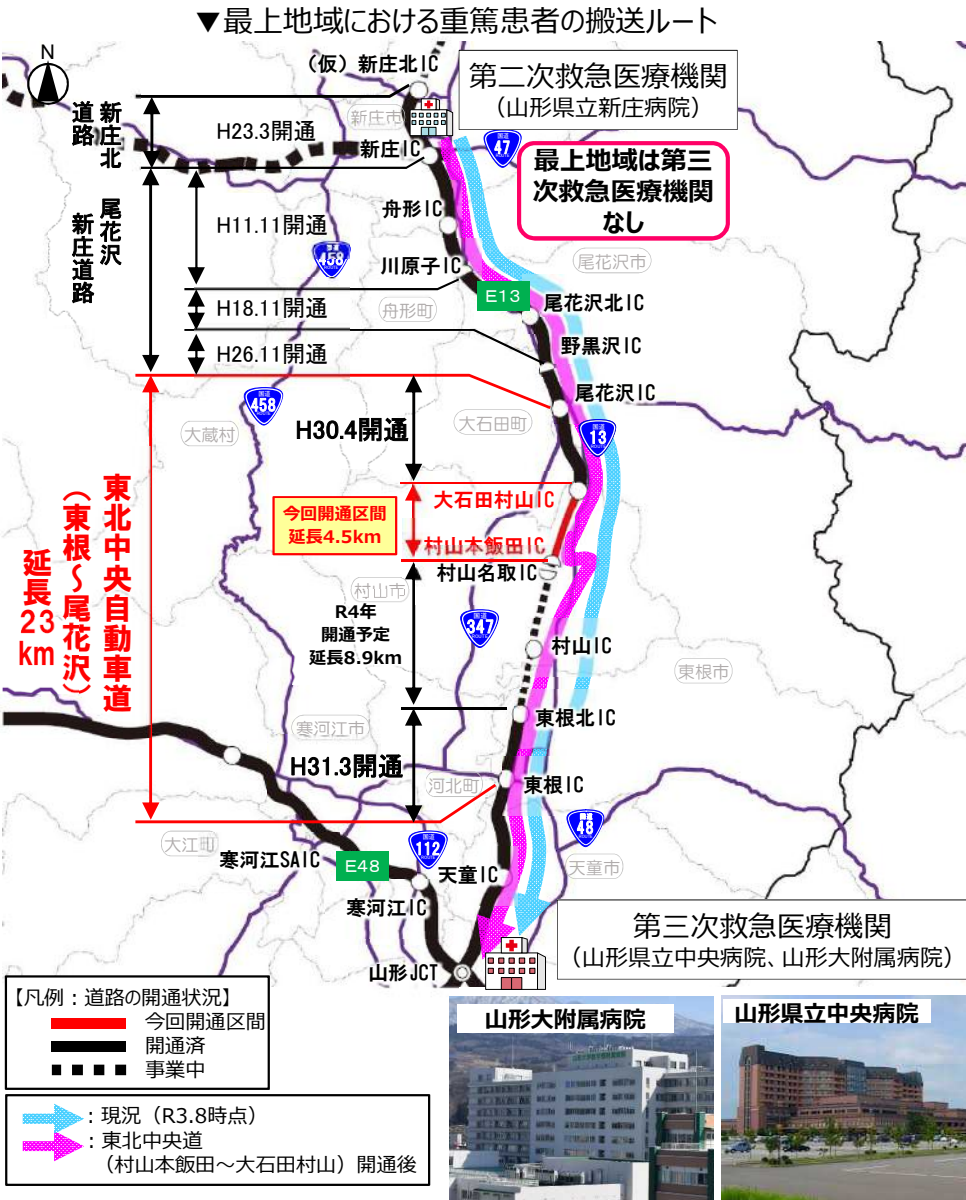


●全線開通に向けて、東北中央道の利活用とあわせ、豊富な観光資源のPRにも繋げていく。

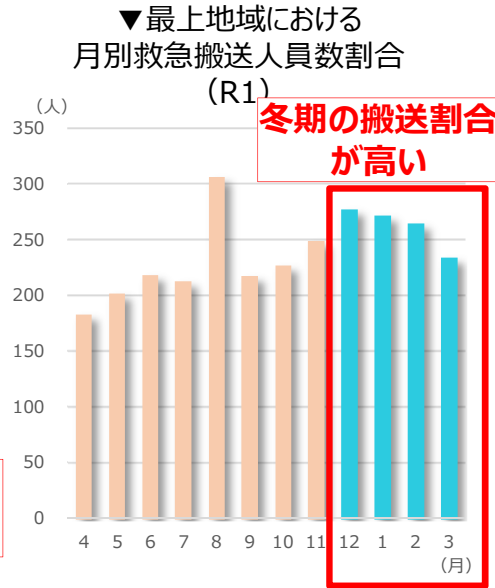
資料：アグリランドむらやま施設、村山市役所ヒアリング調査(R3.8)

# 地域救急医療活動を支援

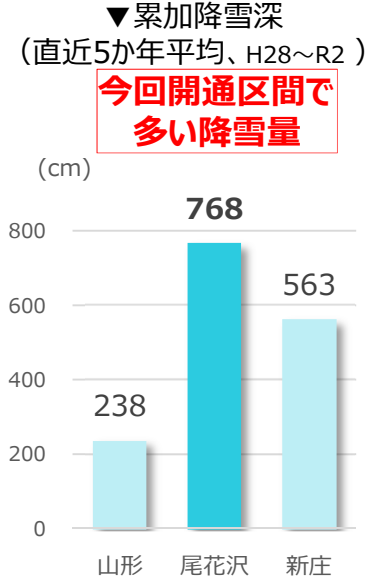
- 最上地域には第三次救急医療機関がなく、重篤患者の多くは山形市内の第三次救急医療機関へ搬送（約8割）。
- 村山市は特別豪雪地帯であり、冬期の救急搬送時間・搬送の安定性が課題。
- 今回開通区間を含む東北中央自動車道の整備により、冬期の救急搬送の速達性・安定性が向上し、地域救急医療活動を支援。



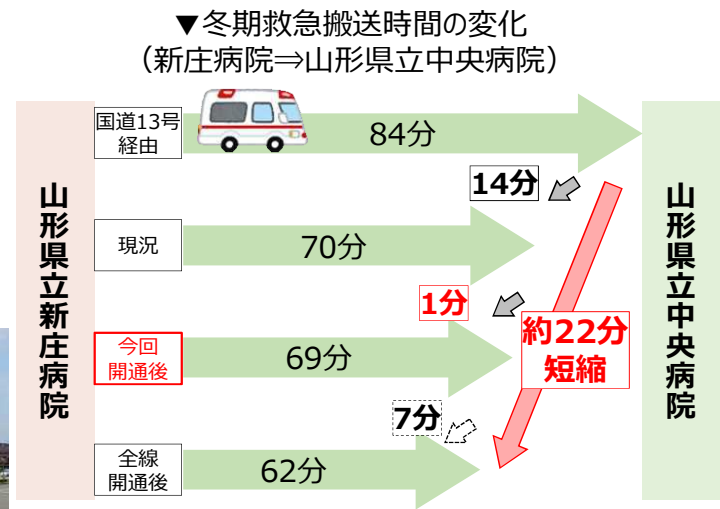
出典：最上広域市町村圏事務組合消防本部ヒアリング結果



出典：最上広域市町村圏事務組合消防本部(R1)



出典：気象庁データ



出典：ETC2.0（R2.12～R3.3、平日 日平均）  
東根北～大石田村山間は80km/h

## 消防本部の声

- 今回開通区間の整備により、冬期降雪時など道路状況に応じた柔軟な経路選択が可能（ダブルネットワーク）となる。
- 冬期は降雪や凍結等の影響で速度を抑えて走行するため、搬送時間が多くかかる。1分1秒が生死に関わるので、1秒単位での時間短縮でもありがたい。
- 地域の救急医療活動のため、今回開通区間を含めた東北中央道の早期全線整備を期待する。



最上広域市町村圏事務組合消防本部(R3.8)



資料：山形大附属病院HP 資料：山形県立中央病院HP

# 式典会場案内図

別紙

## 【位置図】



## 【式典会場詳細図】



## 【セレモニー会場詳細図】



報道関係の方へ

(別添)

## F A X 送信票

### 式典当日の取材にあたってのお願い

式典会場、セレモニー会場の駐車場は台数に限りがございます。  
台数把握のため、12月1日(水)までに下記にご記入のうえ、本状の  
F A Xをお願いいたします。別途、駐車券を送付いたします。

#### 記

山形河川国道事務所 総務課 行  
F A X 0 2 3 - 6 8 8 - 8 3 9 1

○ 駐車台数 <式典会場> \_\_\_\_\_ 台 <セレモニー会場> \_\_\_\_\_ 台

住所 〒

---

会社名

---

部署

---

取材者氏名

---

電話

---

※こちらから連絡させていただく場合があります。連絡が取れる電話番号  
をご記入ください。

※開通式典前に内容等の説明をさせていただきますので、10時00分ま  
でに式典会場にお集まりいただきますようお願いいたします。